

■ Java プログラムで使用する API の説明

java.util

public interface Map<K, V>

型 K のキーに型 V の値を対応付けて保持するインタフェースを提供する。各キーは、一つの値としか対応付けられない。

メソッド

public V get(Object key)

指定されたキーに対応付けられた値を返す。

引数: key — キー

戻り値: 指定されたキーに対応付けられた型 V の値
このキーと値の対応付けがなければ null

public Set<K> keySet()

登録されているキーの集合を返す。

戻り値: 登録されているキーの集合

public V put(K key, V value)

指定されたキーに指定された値を対応付けて登録する。このキーが既に他の値と対応付けられていれば、その値を指定された値に置き換える。

引数: key — キー

value — 値

戻り値: 指定されたキーに対応付けられていた型 V の値
このキーと値の対応付けがなければ null

java.util

public class TreeMap<K, V>

インタフェース Map の実装である。マップはキーの昇順に整列される。

コンストラクタ

public TreeMap()

空の TreeMap を作る。マップはキーの自然順序付けに従って整列される。

java.util

public interface Set<E>

型 E の要素を集合として管理するインタフェースを提供する。

java.util

public class TimeZone

クラス TimeZone は、タイムゾーンを表す。

メソッド

public static TimeZone getDefault()

デフォルトの TimeZone のインスタンスを返す。通常は JVM を実行している OS のタイムゾーン設定と同じである。

戻り値：デフォルトの TimeZone のインスタンス

public int getOffset(long date)

引数 `date` で指定された時刻における協定世界時 (UTC) からの時差 (ミリ秒) を返す。例えば、日本標準時を表す TimeZone のインスタンスに対して `getOffset(0L)` を呼び出すと、`32400000` (9 時間) を返す。

引数： `date` — 時刻 (1970 年 1 月 1 日午前 0 時 (協定世界時) からのミリ秒単位の相対時間)
戻り値：指定された時刻における協定世界時 (UTC) からの時差